

5 死亡退院患者率

この死亡退院患者率から直接医療の質を比較することは、医療施設の特徴（職員数、病床数、平均在院日数、地域の特性など）と、入院患者さんのプロフィール（年齢、性別、疾患の種類や重症度など）が異なり、正確な比較ができないため適切ではありません。

分母を退院患者数、分子を死亡退院患者数としています。死亡率に大きく影響すると考えられた緩和ケア等退院患者と「救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）」を分母、分子から除外しています。

本指標はより低い数値が望ましいとされています。

2018年度の当院の値は、全施設平均値より1.5ポイント高い値となりました。

